

Department of Pediatrics, Tsukiyama Hospital

月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (~は*ホ*トの@の上の^をshiftで変換)

今月の小児科診察予定

- 4月15日(火)は午後から大学診察のため時間外対応できません
学会出席のため以下のように休診、代診があります
- 4月25日(金) 全日休診です
- 4月26日(土) 午前診察は休診です
夜診(17時-)は代理診察です
- 4月27日(日) 午前診は代理診察です
時間外診察はありません
- 4月29日(みどりの日)は9-12時において診察をおこないます
- 4月30日(水)は保健所勤務のため時間外対応はできません

ゴールデンウィークの診察予定

- 4月29日(火-緑の日) 9-12時診察(小児科日直診)
- 4月30日(水-平日) 平日ですが小児科は休診です
- 5月1日-5月2日 通常診察
- 5月3日(土-憲法記念日) 9-12時診察(小児科日直診)
- 5月4日(日-国民の休日) 9-12時診察
(12時以降の時間外対応なし)

5月5日(月-子供の日) 休診

大変申し訳ないのですが5月5日は休診とさせていただきます

連載！赤ちゃんの処置

言葉の遅れ

一般的には女兒より男児の方が遅れるとされ、親の言っていることが理解できていれば発語しないこと自体は3歳頃までは心配ありませんが、次のような時には早期に相談してください

- 音への反応が乏しいか、左右差があるとき
- 親や周りの指示を理解していないとき
- 周りの環境に関心が乏しいとき
- 運動面なども遅れているとき

バックナンバー

申し出ていただければカラーコピーを差し上げています

特集	感染症豆知識	赤ちゃんの処置
第1号 インフルエンザ予防接種		
第2号 発熱時処置		
第3号 熱性痙攣		
第4号 吐き下し		
第5号 インフルエンザ		
第6号 喘鳴		
第7号 喘息の予防		
第8号 タバコを食べた		鼻づまり
第9号 頭をうった		便秘
第10号 小児の皮膚疾患	麻疹	赤ちゃんの発熱
第11号 夏のスキンケア	手足口病	湿疹
第12号 アトピー性皮膚炎(前編)	溶連菌感染症	夜泣き
第13号 アトピー性皮膚炎(後編)	おたふくかぜ	吐く
第14号 おっぱい	百日咳	かんしゃくもち
第15号 熱の頻度と対策	突発性発疹症	あおむけ寝とうつぶせ寝
第16号 インフルエンザの診断と薬	ロタウイルス腸炎	赤ちゃんの予防接種
第17号 インフルエンザの合併症	風疹	室温と体温
第18号 花粉対策	リンゴ病	デブ
第19号 おしっこ異常	アデノウイルス感染症	おちんちん
第20号 おしっこ異常	反復性耳下腺炎	便の色
第21号 扁桃腺炎とアデノイド	単純ヘルペス感染症	母斑(あざ)
第22号 夏かぜ	クループ症候群	離乳食とフォローアップミルク
第23号 虫さされと蕁麻疹	水いぼ	おむつかぶれ
第24号 月山病院ができないこと	境界領域	
第25号 中耳炎	中耳炎	肥満
第26号 インフルエンザの予防接種	鼻汁 鼻出血 副鼻腔炎	お乳が大きくなった
第27号 虫垂炎	虫垂炎	SIDSってなに?
第28号 12月の感染症	結膜炎	
第29号 インフルエンザ 最近の話題		
第30号 脱水		
第31号 チック	チック	体格

連載、境界領域
癬(くせ)
 今回は乳幼児期に現れる癬(指しゃぶり、おしゃぶり、爪かみ、性器いじり)について個別に、最後にこれらへの対処のしかたについて総合的に話します

指しゃぶり
 指しゃぶりは満1歳児の約半数に認められる行動で、特に親指を吸うことをいいます。指しゃぶりは歯並びが悪くなる可能性があるので、早めにやめさせようと思いがなかなか困難です。手袋をしたりやマニキュアタイプ薬(トウガラシ抽出液など)を塗ることもありますが、他の癬に移行したり再発することも多いとされています。2歳以後は減少しはじめ小学校入学時までにはほとんどが消失します

おしゃぶり
 指しゃぶりに有効とも言われますが、歯並びへの影響は同様にあるとされています

爪かみ
 指しゃぶりが3歳までに多いとされていますが、爪かみは3歳ぐらいから徐々に増え小学生の年齢層で頻度が高くなります。手先をきれいにすること、かんだ後の爪の"ざざざ"をきれいにすることからはじめましょう。なお爪自体は食べてもさほど問題はありませんが

陰部をさわる
 幼児にとっては性的な意味合いはなく、ほとんどが小学校入学時期までに消失します。おとなの感覚でむきになって注意すると布団のなかでしてみたりして親をおどろかせます

癬にどう対処するか
 癬について直接的にやめさせること(おこる、指をはらいのける、指や爪に薬を塗るなど)は幼児ではよけいに癬が強くなったり、隠れてしたりと逆効果のことが多いとされています。どういう時に癬がおこっているかを観察したうえで、その状況をとりぞいしたり、他のことに集中させたりして気長に対処するようにしましょう

月山病院小児科では子供達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

(インフルエンザ)の流行状況
 (4月上旬)
 4月1日現在、和歌山市では、ほぼ流行は終息しています



祐輔君、お姉ちゃんに抱かれにっこり!

今月の顔

連載：今月はこんな月
 4月はこんな月

4月初旬は1年のうちで感染症が少なくなる時期のひとつで外來の患者さんも少なくなります。予防接種にはちょうど適した時期ですので積極的に受けるようにしましょう。中旬から下旬になると保育所や幼稚園の集団生活でどうしても感染症の移し合いがあり感染症が増加してきます。花粉症は減少しますが、喘息などはまだまだ悪化しやすい時期です。精神的には入園や入学、クラス替えや担任の変更などのため本人が気づかないうちにも緊張が強くなって、いろいろな心の反響もでやすくなりますので、ちょっと、おかしかな、と感じられたら医師にご相談下さい